

## 飯山龍王神石碑

飯山山頂の三角点そばに大きな石碑がある。龍王神と刻んである。これは明治9年の大干ばつ時に17日間にわたる神官、僧侶による祈禱と干把火を焚いた記念の石碑である。土用の炎天下、五十人で担ぎ、五十人が縄で引っ張りながら小出居から出発し、清水から飯山道を登り、途中から内道を登り曾根に上がる。それから曾根伝いに飯山の山頂に着いたという。記録には「・・・此ノ珍行列ハ後世再ビ見ル能ハザル奇観トシテ村民ノ語り伝フル所ナリ」と結んでいる。

広島県八幡村自治五十年志

